

1 令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

(1) 正答率について

学校	教科	年度	全国平均	県平均	石巻市平均	全国との乖離	県との乖離
小学校	国語	R6	68	65	66	-2	+1
		R5	67	65	64	-3	-1
		R4	66	62	62	-4	0
	算数	R6	63	57	58	-5	+1
		R5	63	58	57	-6	-1
		R4	63	58	57	-6	-1
中学校	国語	R6	58	55	53	-5	-2
		R5	70	68	64	-6	-4
		R4	69	68	66	-3	-2
	数学	R6	53	46	44	-9	-2
		R5	51	44	41	-10	-3
		R4	51	45	44	-7	-1

【傾向】

○小学校は、調査開始以降初めて、国語・算数ともに正答率が県平均を上回った。

○中学校は、県平均に達しなかったものの、国語・数学ともに乖離は減少した。

(2) 全国平均以上の学校数割合について

小学校	R4	R5	R6	中学校	R4	R5	R6
国語	21.2%	31.3%	43.3%	国語	0.0%	11.8%	29.4%
算数	21.2%	25.0%	26.7%	数学	0.0%	5.7%	29.4%

【傾向】

○小・中学校ともに全国平均値以上の学校の割合は増加している。

2 学力向上プランの重点事項について（全国学力・学習状況調査 質問紙調査から）

(1) 学習意欲の向上について

質問	児童生徒質問	R6 全国との差	
		小6	中3
1	先生は良いところを認めてくれる	19.0	2.0
2	算数・数学の解き方が分からなくてもあきらめない	0.3	2.2
3	算数・数学勉強が好き	-4.5	3.8
4	算数・数学の勉強は大切	-1.5	3.0
5	算数・数学の授業がよく分かる	-4.1	4.9
6	算数・数学は将来役に立つ	-1.0	2.8
7	国語勉強が好き	8.1	13.4
8	国語の勉強は大切	-0.5	1.1
9	国語の授業がよく分かる	3.1	5.7
10	国語は将来役に立つ	1.7	3.1

【傾向】

- 質問 1 から、小中学校ともに、教師と生徒の関係は良好な傾向だと考える。
- 質問 2 から、小中学校ともに、算数・数学の問題に対する「粘り強さ」が身に付いてきたと考える。
- 質問 3～6 から、小学生は「算数」が好きではなく必要感を感じていないが、中学生は、「数学」は大切であり、授業も理解できていると考える。
- 質問 7～10 から、小中学校ともに、国語に関する学習意欲が高く、授業の内容を理解していると考ええる。

(2) 授業改善について

① 授業形態について

質問	児童生徒質問	R6 全国との差	
		小6	中3
1	課題に対して自分で考え取り組む	3.5	6.2
2	学んだことを生かして考えをまとめる	5.3	4.7
3	話し合う活動を通じて考えを深める	5.3	4.7

【傾向】

- 質問 1・2 から、小中学校ともに、積極的に課題に取り組み、主体的に学習に取り組んでいると考える。
- 質問 3 から、小中学校ともに、「対話的な学び」が推進されていると考える。

②ICT 機器の活用状況について

質問	児童生徒質問	R6 全国との差	
		小6	中3
1	授業で週3回以上タブレットを使っている	0.4	5.0
2	ICTを活用して自分の考えを分かりやすく伝える	0.5	3.7
3	ICTを活用すると自分のペースで学習できる	-0.7	0.7
4	ICTを活用すると友だちと協力して学習できる	1.2	4.1

【傾向】

- 質問 1 から、小中学校ともに、授業におけるタブレットの活用は推進されてきたと考える。
- 質問 2 から、小中学校ともに、タブレットを伝達の道具として有効に活用していると考える。
- 質問 3 から、小中学校ともに「個別最適な学び」を展開するためによりタブレットの活用が必要と考える。
- 質問 4 から、小中学校ともに、意見や思考の交流にタブレットを活用し対話的な学びを実践していると考ええる。

③基本的な生活習慣について

質問	児童生徒質問	R6 全国との差	
		小6	中3
1	朝食を毎日食べる	-1.0	-1.2
2	毎日、同じくらいの時間に起きる	0.1	0.4
3	毎日、同じくらいの時間に寝ている	-2.3	-1.3
4	平日(小)1時間以上(中)2時間以上勉強する	-1.1	-6.8
4	土日(小)2時間以上(中)3時間以上勉強する	-5.0	-7.0
5	1日3時間以上「ゲーム」をする	7.0	6.7
6	1日3時間以上「通信機器」と向き合う ※ゲーム以外	6.6	5.0

【傾向】

- 質問 2 から、小中学校ともに、朝はほぼ決まった時間に起きていると考える。
- 質問 2 以外については、小中学校ともに、全国よりも低い傾向になっており、時間の調整力が足りないと考える。特に、ゲームや通信機器を利用している時間が長く、家庭での過ごし方に課題があると考ええる。

3 今後の学校での取組について

(1) 課題について

学力向上プランの重点である、「学習意欲の向上」「授業改善」については、ある程度の成果が認められ、全国学力・学習状況調査の結果にも表れている。

一方で、「基本的な生活習慣」については、顕著な改善の傾向が見られない。

この課題には、学校が毎日課題を出し家庭学習の習慣化を図ったり、家庭向けの啓発リーフレットを作成して配布したり、令和4年度から小学校、中学校共に年2回の教育相談を実施するなど、これまでも継続して、家庭に対する働き掛けや啓発を行ってきた。

今後は、ICTを活用して、家庭を巻き込んだ取組を工夫し、基本的な生活習慣の定着を図りたいと考える。

(2) 子どもに育成する力

- ① 学びに向かう力
- ② 時間をコントロールする力
- ③ ICTを有効に活用する力

(3) 具体的な方法と身に付けさせたい力・態度等(別紙)

(3) 具体的な方法と身に付けさせたい力・態度等

【育成する力】 学びに向かう力	【育成する力】 時間をコントロールする力
【具体的な取組・活動】 ・良い対人関係を築くトレーニング ・望ましい行動を称賛する活動 ・仲間を支える活動 ・対話による知識の習得	【具体的な取組・活動】 ・幼児期の教育の実践(幼児教育プラン) ・バランスの良い健康的な生活の実践(体力向上プラン) ・家庭での過ごし方を自己管理する活動
【身に付けさせたい力・態度等】 ・自己の感情や行動を統制する力 ・よりよい生活や人間関係を自主的に形成する態度 ・自分の思考や行動を客観的に把握し認識する力 ・多様性を尊重する態度 ・互いのよさを生かして協働する力 ・リーダーシップやチームワーク ・感性、優しさや思いやり	【身に付けさせたい力・態度等】 ・知、徳、体をバランスよく実践する、自己調整力 ・目標を設定し、計画的に粘り強く取り組む力 ・自分で決めて、自分で行動する自立心 ・身に付けた力を、他者のために役立てようとする態度
・Yomokka!や「タブレットドリル」を家族とともに行う実践 ・タブレットを活用した、「努力の見える化」の実践 ・AIドリルやAIスマートコーチを利用し、家族を巻き込んだ家庭学習の取組 ・タブレットを活用し、家庭における「個別最適な学び」の実践 【身に付けさせたい力・態度等】	
「ICTを効果的に活用する力」	
【育成する力】	